

企画シンポジウム

J.R.R. トールキン

円卓の騎士ガウェイン

ファンタジーの一源泉『ガウェイン卿と緑の騎士』
——トールキン&ゴードン版校訂本100周年を記念して
Centenary of J.R.R. Tolkien and E.V. Gordon's SGGK Edition



中世アーサー王文学の傑作『ガウェイン卿と緑の騎士』。
今年 J.R.R. トールキンと E.V. ゴードンによる本作の
校訂本刊行(1925年)からちょうど100年を迎える。
この節目に、改めて本作品の魅力と
ファンタジー界での受容・影響について考える。



11月14日(金)

16:40~18:40

立命館大学 衣笠キャンパス
学而館 403 教室

○ 参加自由

妙遊

神対応の騎士ガウェイン卿
——全方位を魅了する最高のコミュニケーション術

岡本広毅

トールキンへと至る道
——中世ロマンスの珠玉はいかに発掘され、磨かれたか

伊藤尽

魔法の力は存在するの?
——魔法の緑帯と『指輪物語』の指輪

藤井香子

再話される『ガウェイン卿と緑の騎士』
——ローズマリー・サトクリフを例に

協賛：立命館大学衣笠国際言語文化研究所 ヴァナキュラー文化研究会
問合せ：岡本広毅(立命館大学文学部英語圏文化専攻) roki-ok@fc.ritsumei.ac.jp